

緩和ケアだより

平成28年度 第3号

緩和ケアチームカンファレンスの紹介

緩和ケアチームは、外科・内科医、精神科医、看護師、薬剤師、臨床心理士等多職種メンバーで構成されています。専門性の異なる複数の職種が協働することで、あらゆる視点から患者・家族の情報を得たり方針を検討することが可能となり、それが緩和ケアチームの最大の強みでもあります。そして、その強みを発揮するためには、メンバー間の円滑なコミュニケーションが欠かせません。

今回は、チーム内のコミュニケーションを促進し、チームワークを高めるための取り組みについて少しご紹介します。



看護師、臨床心理士以外のメンバーは兼任であるため、一堂に会するチャンスは週1回のカンファレンスの時しかありません。確保できる時間も限られていることから、有効かつ効率的な意見交換が行えるよう、カンファレンス用のシートを作成しました（電子カルテ内文書「緩和ケアチームコンサルテーションプラン」）。事前に各職種が得た情報やアセスメントをシートに記載しておき、それをもとに、カンファレンスでは情報やアセスメントを集約し、問題点・目標・ケアプランについて話し合うようにしています。

この取り組みを始めてから、各メンバーが主体性をもってカンファレンスに臨むようになり、活発な意見交換が行われるようになりました。今後は、チーム間のみならず、主治医・病棟スタッフの皆さんとのコミュニケーションを促進していくことも重要な課題と考えております。まだまだ改善の余地はたくさんありますが、チームワークを高めて緩和ケアチームの強みにさらなる磨きをかけられるよう、そして、主治医・病棟スタッフの皆さんと密に連携できる体制となるよう、今後も検討を重ねていきたいと考えております。お気づきのことがありましたら、いつでも緩和ケアチームにご意見ください！
よろしくお願いします。

これが、「緩和ケア
チームコンサルテ
ーションプラン」です！

患者番号 氏名 生年月日 性別 診療科・病棟		緩和ケアチーム コンサルテーションプラン	
		作成日：平成 年 月 日	
Ⅰ. 依頼内容			
依頼目的			
コンサルティの状況			
Ⅱ. 情報収集およびアセスメント			
身体的側面			
精神的側面			
心理社会的側面			
療学的視点での評価			
半費後援面での評価			
Ⅲ. 問題の抽出・コンサルテーションプランの立案			
緩和ケアチームが介入する問題			
目標および評価時期			
介入期間の規模と期			
介入レベル			
マネジメント方法 チーム内の役割分担			
Ⅳ. 経過			
経過日	平成 年 月 日		
経過内容	口述記録	口述録	口述録

平成27年5月作成 第3版
緩和ケアセンター

平成27年5月作成 第3版
緩和ケアセンター



コラム1

患者さん、ご家族にどう声をかけたらいいのか、
悩むことはありませんか？
最近、こんな本を目にしましたのでご紹介いたします。

1. **「ひとりで抱え込まないでね」** (P2 遠藤貴子)
がんとともに生きていく過程では1人で乗り越えていくことは難しいことである。孤独を感じさせないということ、そして、どんな時も一緒に悩み考える存在として私たちがいることを忘れないでほしいというメッセージ
2. **「気にかけています。うまくいってほしいなあ、と私も心から願っています」**
(P13 黛芽衣子)
3. **「応援しています」** (P15 佐々木常雄)
真実を話して、もう治療法がないことも話して、患者は他の病院や、医療機関に紹介されることになるかもしれないが、それでも「応援しています」というつながりが欲しいのです。



森田達也編：
緩和ケアの魔法の言葉.緩和
ケア6月増刊号,
青海社出版,2016

緩和ケア外来の患者さんは年々増えてきております。しかし、受診に来た患者さんの中には「緩和ケアに行くにはまだ早すぎる」「もうすることがないので緩和で診てもらいましょう」と言われたという言葉を目にすることがあります。

果たしてそうなのでしょうか？

ある患者さんがこんなことを言っていました。

「半年の命と言われ緩和に来ました。痛い時はもういいかなと思うこともありました。が、お薬のお蔭で痛みが和らぎ、正月を迎えることができました。次はお雛様を目標にしました。5月には家族旅行で食べ過ぎてしまいました。夏祭りも車の中で見ましたがじっとしていられず外に出て楽しんでしまいました。がんは治りませんが、痛みがないとこんな生活もできるんですね。こうしてると欲が出て少しでも長く生きたいと思うものです。長く生きてると笑うこともありますから」

治療をしても、していなくても患者さんがしたいことができる。そのためにも、がんと診断された時からの緩和ケアを推進したいと思います。

コラム2